



よつば小 だより

令和3年12月13日 第15号
守口市立よつば小学校
06-6901-5425
発行責任者 校長 濱口 和久



平和と自然の中で…



12月7、8日の二日間、6年生は広島に修学旅行に行きました。

1日目の朝、学校に集合したときはあいにくの雨でしたが、新幹線が新広島駅に到着する頃には、青空が広がっていました。昼食はお好み焼きで、大きな鉄板の上からアツアツのお好み焼きをコテ（広島では「ヘラ」）で直接口に運ぶという、普段あまり経験しない食べ方でおいしくいただきました。平和公園ではガイドさんとともにフィールドワーク、そして「原爆の子の像」の前で平和セレモニーを行い、児童全員で祈りを込めて折った「千羽鶴」を捧げました。その後、平和資料館の見学を行いました。事前学習で学んだ後実際に目の当たりにすることで、改めて平和の尊さを実感したのではないのでしょうか。

瀬戸内の海の向こうにうっすらと夕焼けを見ながら、バスは宿舎へと到着。あいにくの曇り空のため夕食後の天体観測はできませんでしたが、明日の活動に期待を膨らませ1日目は終了しました。

2日目、朝から晴天に恵まれ、予定通りカッター漕艇とミカン狩りを実施。最初はぎこちないオールの使い方でしたが、指導員さんのおかげですぐに上達し、班で息を合わせて「オーエス、オーエス」と掛け声リズムカルにカッターは水面を進んでいました。ミカン狩りでは、急斜面に気を付けながらも、少し小ぶりな甘いミカンを口に運んでいました。中には20個以上も食べた人もいたそうです。昼食に鯛めしをいただいた後、宿舎を後に一路新広島駅へ。新幹線とバスを乗り継ぎ、すっかり暗くなった学校に戻ってきました。

子どもたちは集団としての行動を立派に果たし、仲間とともに協力し合い、素晴らしい2日間であったと思います。さすが6年生。小学校生活のいい思い出のひとつになったことでしょう。

寒く暗い中、お出迎えに来ていただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

